

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 3 月 19 日作成 第 1.0 版

研究課題名	骨密度と腰椎 Hounsfield Units の関連性の検討
研究の対象	2017 年 1 月から 2021 年 9 月の間に横浜市立大学附属市民総合医療センターにおいて骨密度の測定を行った患者さんのうち、前後 60 日以内に腰椎 CT を施行した方を対象とします。
研究の目的	骨粗鬆症の治療において DXA 法（二重エネルギー X 線吸収測定法：骨密度の計測方法）による骨密度の計測が一般的に最も信頼性の高い検査とされています。腰椎 CT で腰の骨を計測することでこの検査がうまくできない患者さんの骨密度を推し量ることができるかもしれません。そのため腰椎 CT で適切な計測方法や有用性を明らかにしていく必要があります。本研究で今後このような方の骨粗鬆症治療の助けになる可能性があります。
研究の方法	腰椎 CT から腰椎の領域にしぼって CT の数値を解析して、従来から行われている DXA 法による骨密度の計測との比較を行います。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2025 年 4 月 9 日（研究機関の長の許可日） ～ 西暦 2028 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2025 年 4 月 9 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報：年齢、性別 ・画像検査：CT、骨密度
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工した情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。 廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の 管理について 責任を有する 者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属市民総合医療センター 整形外科 稲澤真
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究は研究責任者が所属する診療科の基礎研究費で実施され、本研究における開示すべき利益相反はありません。
研究組織 （利用する者 の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 整形外科 稲澤真
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方に ご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その 場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただい た段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 整形外科 （研究責任者・問い合わせ担当者）稲澤 真 電話番号：045 - 261-5656（代表）	